

- ⑤ 応募する
- ④ 仕上げ
- ③ 作文を書く
- ② 構想を考える
- ① テーマを決める

## 1 まず、テーマを決めよう！

SDGsの17の目標はすべて「住みよい地球」にかかわりがあります。テーマ例の中に、あなたが体験したことや見たこと、感じたことなどに関係するテーマはありませんか？

|                                               |                                                    |                                    |
|-----------------------------------------------|----------------------------------------------------|------------------------------------|
| たとえば…<br>エス・ディー・ジーズ<br>SDGsについて学んで、<br>考えたこと  | たとえば…<br>にほん ぶん か がいこくじん<br>日本の文化を外国人に<br>知ってもらうこと | たとえば…<br>がいこく ぶん か し<br>外国の文化を知ること |
| たとえば…<br>か ぞく ち いき ひと<br>家族や地域の人がなか<br>よくすること | 参考テーマ例                                             |                                    |
| たとえば…<br>さいがい み まも<br>災害から身を守ること              | たとえば…<br>ちきゅう かんきょう だいじ<br>地球環境を大事にする<br>こと        | たとえば…<br>エネルギーをむだにしない<br>こと        |



ご指導の先生方へ

「作文の書き方」は、学校での授業や家庭学習のテキストとしてご活用ください。書きあがった作文は、「住みよい地球」全国小学生作文コンクールにご応募いただければ幸いです。

# 「住みよい地球」全国小学生作文コンクール

「住みよい地球とSDGs」をテーマに作文を書こう！

## 4 仕上げ

審査員の先生からのアドバイス

1字1字でいいに書いてくれた作品は、読む側としてもいっしょけんめい読みたくなります。おうちの人に相談した場合にも、実際に書くのは自分です。インターネットで調べてそれを写しただけでは作文にはなりません。何がわかって、どう感じたのかも書きましょう。



- 1 字数はオーバーしていない？  
1年生～3年生は800字以内、4年生～6年生は1200字以内です。みじかい分にはかまいません。
  - 2 字のまちがいはない？
  - 3 「です・ます」と「である・だ」が、まざっていない。
  - 4 自分の考えや気持ち、読む人に伝わるような表現になっているかな？
- 書きあがったら…（最後のチェックが大事！）  
できたーできた！  
作文が書きあがったからといって、よろこぶのはまだ早い！  
次のことに注意してもう一度読み直してみよう。

## 5 応募する

入賞を目指して、  
さあ！自信をもって応募しましょう！

しめきり  
10/1±  
当日消印有効

お家の方へ

「作文の書き方」は、お子様が家庭学習の一環として取り組む国語学習のテキストです。作文を書く際のヒントをまとめたものです。お家の方からのアドバイスもお願いします。また、書きあがった作文はご担当の先生に提出してください。直接「住みよい地球」全国小学生作文コンクール事務局にお送りいただくことも可能です。詳しい応募要項は下のQRコードからご確認ください。

主催：岩谷産業株式会社 <https://www.iwatani.co.jp/jpn/consumer/kids/pickup/sakubun/>  
事務局：株式会社プラスエム <https://plus-m.co.jp>

応募・問合せ先：「住みよい地球」全国小学生作文コンクール事務局（プラスエム）  
〒104-0032 東京都中央区八丁堀 3-17-6 群成舎八丁堀ビル 6 階  
Eメール：sakubun@plus-m.co.jp  
電話：03-5541-7080





まとめ

なかで書いたことについて、私はどう思ったか？  
どうしたらよいと思うのかを書きます。

なか

はじめに書いたことを、具体的な出来事として、より詳しくわかるようにします。

「そうだったのか」とわかるように書きます。

作文の中心になる部分です。

「そうだったのか」と

作文の中心になる部分



# はじめ

これから書くことを  
 かんたんに説明したり、  
 なぜ書くか<sup>か</sup>こう<sup>か</sup>とおも<sup>おも</sup>ったのか  
 などを<sup>か</sup>書きます。

## くふう

「屍切れトンボ」にならないように注意します。

書き終わり

書き終わりは、意外とむずかしいもの。読々  
ような終わり方をくふうしましょう。

書き終わる

書き終わりは、意外とむずかしいもの。読んだあとにより印象が残るような終わりをくふうしましょう。

◎ 場面 ばめん .. だれもない教室に私だけが残っていた。  
◎ 会話 かいわ .. 「おばあちゃん、ありがとう」  
◎ まとめ .. くだったので、私はくだと思いました。

◎ 会話：「おばあちゃん、ありがとう」

◎まとめ…  
 くだったので、私はくだと思いました。



くふう

さくぶん  
作文の書き出しは、読む人に「何だろう?」「おもしろそう!」と思っ  
て  
もらえるようにしたいですね。こんな書き出しはどうでしょう。

◎ ◎ ◎  
感かん会かい場ば

面めん..玄関げんかんを出でたら朝日あさひがまぶしかった。

話..「おいしいねえ！」

動どう..「私は、うれしさに胸むねがいつぱいだった」



わだい  
話題をしぼり込む  
こ

話題をしぼった方がしまります。「私の家族」よりも「私の妹」の方が、それよりも「妹の好きなどころ」の方が印象的な作文になります。しぼり込んだ話題について、具体的に書きましょう。

たとえば友だちの表情、お父さんの服そうなど注目した部分を具体的に書くと、文章にふくらみが出ます。

自分の本音を出す

読むことも大事です。楽しさ、悲しさ、うれしさなど自分の本音を出すと、読む人にも伝わります。

感じたことを文章中に入れる

感じたことを文章中に入れる

自分で見たたり、聞いたり、さわった感じや、においや味など感じたことを入れると、実感が出てきます。



書き始める前に  
作文を書く

テーマが決まったら、  
どのようなことを、どんな  
順番で書くか考えます。

# 原稿用紙の使い方

[illegible]

- ① 原稿用紙の1行目に  
題名を書きます。
- ② 学校名・学年・氏名は  
2行目に書きます。
- ③ 作文を書き始めるのは  
3行目から。段落をつける  
ので1マス目はあけて  
くださいね。
- ④ 「、。？！は1マス  
を使います。
- ⑤ 会話文では改行します。  
改行は文章が二区切り  
ついたときにします。
- ⑥ このとき、1マス目を  
あけて続きを書き出し  
てくださいね。

② 学校名・学年・氏名は

### ③ 作文を書き始めるのは

るので1マス目はあけて

④ は1マ

## ⑥ 改行は文章が一区切り